

私塾ネット 出前寺子屋「漢検合格講座」



出前寺子屋 in 石巻「漢検合格講座」の仕組み

活動期間：2011年8月16日～2012年2月4日

- ①説明会&級位判定もぎテスト
第2回検定分は定員に達したため一般公募は締切。
- ②スクーリング（会場確定分）
9月4日、18日、10月2日、16日、11月5日、20日、（14:00～）
12月以降も継続実施。検定教材を自宅学習し、スクーリングで進捗
チェックと確認テストを実施。小中高生徒には学習指導も同時実施。
- ③漢検受検
第2回検定11月5日、第3回検定2012年2月4日。
漢検準会場校A1Mの分教場の扱いで実施。
- ④受講対象者
仮設住宅、借上げ住宅等に居住する被災市民。
- ⑤受講者特典
・教材費・スクーリング受講費・検定料の全額が無料。

受講生32名に！

◆活動報告その⑤[2011年10月16日]

8月16日から始まった出前寺子屋 in 石巻の活動は、10月16日のスクーリングで5回目となった。8月16日は開講説明会であったので、スクーリングとしては第4回目となる。今回の同行者はエリア関東の長谷川洋男(千葉県四街道市・秀英ゼミナール)さんである。長谷川さんは千葉学習塾協同組合の理事長なので、今回の訪問は同業者協同組合の責任者としての視点からの視察活動の一環でもあった。ところが、主管のAIMの同行講師が当日朝貧血を起こし、急ぎよ石巻行きが停止となってしまった。そのため、参加者は小生の他は谷村和枝のみとなり、完全なマンパワー不足の事態である。そこで強力な助っ人となったのが長谷川さんであった。

上野発午前8時14分、新幹線MAXやまびこで仙台へ。10時24分、東北本線に乗り換え松島駅到着は同48分である。ここでいつもの通り、地元の支援者木伏氏と待ち合わせる。8月16日の初回の活動以前から、地元の移動の足は木伏氏の車のお世話になっている。この日は夕方6時に松島駅でお別れするまで、7時間にわたってご助力をいただいた。

石巻への途上、津波被害の大きい東松島市の野蒜駅に立ち寄る。いまだ開通の見通しもたため仙石線、その被害の甚大さを実感する。石巻市内に入るとまず石巻港湾の工業地帯に車を進ませる。ひときわ目を引くのは日本製紙石巻工場だが、被害の爪後から完全操業に程遠いのが現状であることが伺える。

工業地帯に隣接する住宅地の被災状況は目を覆うばかりだ。大街道地区にはまばらに住宅が残っているが人気はない。門脇地区は見渡す限りがれき撤去後の殺風景な風景で、当分の間人の住める状況ではない。真っ黒く焼跡を残す門脇小学校の姿は、何度見ても最も心を痛める光景である。公私の別に関係なく、子どもたちの教育に関わるすべての者は、この光景を目の当たりにするべきであろう。

寺子屋会場の仮設開成団地には多数の車が集まっている。どうやら近くで大きなイベントが開催されているようだ。風に乗ってバンド演奏の音ががとぎれとぎれに聞えてくる。

木伏氏もふくめ4名の陣容では会場設営もあわただしい。開講時間の午後2時の30分前には、受講生の皆さんが次々とやってこられる。今回の出席者は新規で来られた3名を含めて22名を数えた。これは前回とほぼ同数でテーブル8本、座卓5本の設備を全部をつかって満杯の盛況である。登録受講生は、当日の

11月5日の検定には18名が挑戦。



第4回スクーリング風景。この日は22名が出席、コの字にテーブルを配置しお互いの表情を見ながらそれぞれの学習に励む。老若男女が席を同じくしての学習風景は、「学」の本質を具現している。



進捗表で学習の進み具合をチェック。



長谷川、木伏先生は採点係だ。



AIM和枝先生の指導で課外授業はフラワーアレンジメント。この日も全員参加で好評であった。「仮設は殺風景ですから花はうれしいです」との言葉に意を強くする。



作品を前に親子三代のこの笑顔。

欠席者加えると32名となった。11月5日の検定後まで、新規の受入れは無理な状況で公募は停止しているのだが、受講生の同行による紹介とあってはお断りできないのだ。

休みなしの90分の漢字学習の後、ほっと一息をつくのは「課外授業」のフラワーアレンジメントだ。好評のため今回も和枝先生の指導で実行した。今回も全員参加、楽しそうに生花を活ける皆さんは、老若男女みな等しく穏やかで幸せな表情をしている。石巻のこの地が、寺子屋に集うこの方たちが、大震災の被害を受けられた事実を一瞬忘れる時間である。

2011年10月18日 AIM学習セミナー 谷村志厚

主催：全日本私塾教育ネットワーク（略称・私塾ネット）